
ムーンライトシンドローム

江渡捨文

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ムーンライトシンドローム

【Nコード】

N1345M

【作者名】

江渡捨文

【あらすじ】

満月の夜、彼が出会った奇怪な生き物とは。

（前書き）

短編小説、第2作目。
読んで頂けたら幸いです。

「くそつたれが！」

そう叫ぶとトムは玄関を飛び出した。

乱暴に閉めたドアの音が閑静な夜の住宅街に響く。

いつもこうだ。息子の話になると必ず口論になる。

メアリはジェイクを都会の学校に通わせたいらしい。

都会？ わざわざ遠い都会に？ イカれたジャンキーと黒人ばかりの都会に？

それも高い学費を払って！

許せなかった。金を払うのは俺だ。俺が汗水流して稼いだ金だ。

息子をどこの学校に行かせるかは俺が決める。

苛立ちを抑えるためには酒が必要だったが、飛び出した手前取りに戻るわけにもいかなかった。

トムは夜空を見上げた。

一面の星空の中、嘲笑うかのように満月が青く輝いていた。

ため息をついて視線を戻したその時、庭の端の茂みに違和感を覚えた。

なにやらがさがさと動いている。

ねずみか、それとも蛇か。目を凝らすと暗くてよく見えない。

正体を確かめようと顔を近づけた瞬間、その顔めがけて何かが飛び掛った。

顔にへばりついたそれはヌメヌメと濡れていた。

トムは恐怖と嫌悪でパニックになった。

なんとかそれを顔から引き剥がすと、地面に叩きつけた。

月明かりに照らし出されたその姿は、トムが今までに見たどんな生き物とも似ていなかった。

ブヨブヨとした丸い体は白く半透明で、紫色の臓器が脈動する様子が透けて見えた。

その体からは何百本ものミミズのような触手が蠢き、中心部からはラッパのような筒状の器官が数本伸びていた。

その筒状の器官は呼吸をするかのように伸縮を繰り返していた。

この世のものとは思えない醜悪な姿と、顔にべっとりとはばりついた粘液の悪臭に耐えきれず、トムは嘔吐した。

吐き気が収まり、それがいた場所に目をやると、それはすでに消えていた。

しかしそこには、小さな、楕円状の白い物体がいくつも残されていた。

トムは卵を連想した。

まさかと思い自分の吐瀉物に目をやると、そこにも同じものが数個見受けられた。

トムは再び嘔吐した。

「なんだってんだ！ちくしょう！」

逃げるように部屋へと戻ると、妻と息子はもう寝入っていた。

トムは酒を煽り、眠った。

メアリが目を覚ました時、トムはもういなかった。家の中のどこにも。

靴も、携帯電話も、車も残したまま、トムは消えていた。

次に彼女がトムと出会った時、彼女が目にしたのは変わり果てたトムの姿だった。

（後書き）

感想、批評等お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1345m/>

ムーンライトシンドローム

2010年10月31日01時24分発行